

# 岩手県釜石・大槌地域の基本計画の概要

## 計画のポイント

- ・高規格幹線道路と重要港湾釜石港を最大限活用しながら、当地域に集積がある鉄鋼業、機械工業を中心とした産業用機械・金属関連産業の更なる集積、育成等を推進するとともに、物流関連産業の集積を目指す。
- ・震災で被災した魚市場などの流通体制の再整備と併せて、食品関連産業の更なる集積、育成・強化を図る。
- ・エネルギー関連産業や情報関連産業など、将来性のある新しい形態の産業集積にも積極的に取り組んでいく。

1. 集積区域 釜石・大槌地域 1市1町(釜石市、大槌町)

2. 集積業種 産業用機械・金属関連産業、食品関連産業、物流関連産業、エネルギー関連産業、情報関連産業

3. 集積区域における集積業種に係る成果目標(目標年次:30年度)

付加価値額増加額	171億円	新規立地件数	8件
製造品出荷額増加額	178億円	新規雇用数	310名

4. 目標に向けた事業環境整備等

産業基盤の整備

- ・工場立地法における緑地率規制緩和、工場用地の候補地調査・開発検討
- ・工業団地の造成や技術習得施設の充実、貸工場・貸倉庫整備の検討

人材の育成・確保

- ・高校生や市民を対象にした地域企業が持つ技術・製品等の周知イベント開催
- ・Uターン促進

研究開発・技術支援

- ・釜石・大槌地域産業育成センターや釜石高等職業訓練校による技術支援、岩手大学等との産学官連携による共同研究・技術開発等の促進
- ・企業ニーズと研究シーズのマッチングによる技術開発を推進(コバルト系合金による新素材製造の事業化に向けた取組みや水産系の共同研究等を展開)

5. その他関連情報

- ・当地域には鉄の歴史に培われた「ものづくり」への実直な取組み姿勢が根付いており、技術習得の速さは県内でもトップクラスの評価。
- ・長年産業集積が図られてきた鉄鋼業とともに、近年は空気圧補助機器メーカーを中心とした機械工業が主要産業となりつつある。
- ・復興支援道路として整備が進められている東北横断自動車道釜石秋田線と三陸縦貫自動車道の完成後には、交流人口の拡大や企業の物流環境の改善、それに伴う新規企業立地など、様々な面で地域経済の活性化が進むものと期待されている。
- ・京浜港と釜石港を結ぶ内航フィーダーコンテナ航路が開設されており、全世界とタイムリーにコンテナ輸出入を行うことが可能である。
- ・当地域では風力発電や石炭火力発電など大規模発電事業が行われている他、新たな再生可能エネルギー関連の取組みも活発である。
- ・東日本大震災以降、大学等の支援によって、IT技術者の人材育成教育やIT企業の起業支援などが展開されている。



岩手県

岩手県釜石・大槌地域

面積: 約6.4万ha(県全体の4.2%)

人口: 約49千人(県全体の3.8%)

産業用機械・金属関連産業

食品関連産業

物流関連産業

エネルギー関連産業

情報関連産業



東北横断自動車道



釜石港

大槌町

釜石市

重要港湾  
釜石港